



OTT クラウドコスト の課題に対処する

現在、OTT 事業は苦しい状況にあります。

2023 年 8 月に実施された **Parks Associates の調査**によると、顧客のチャーン/切断率は 47% でした。サービスが獲得したサブスクライバーの 2 人に 1 人は更新しません。

世界全体で、3 人に 1 人の消費者が動画ストリーミング・サブスクリプション・サービスへの支出を削減したいと考えています。

既に、今日の視聴者が登録しているストリーミングサービスの数は平均 2 つを切っています。

価格は、ストリーミング・メディアのサブスクリプションを評価する上で最も重要な基準であり、関連コンテンツ、広告なしのストリーミング、視聴者にとってのアクセスのしやすさよりも重視されています。

それでは、OTT サービスのリーダーはこの課題にどのように対処しているのでしょうか？

答えは、コスト管理を試みることで、です。ワークフロー運用コスト (OpEx) は、リーダーが重点を置いているポイントの 1 つです。2023 年 9 月に Akamai が委託した **Forrester Consulting の調査**によると、3 分の 1 の企業で過去 3 年間にクラウドのデータ量とコストが 50% 以上増加しています。



「貴組織では、過去 3 年間にクラウドの**データ量**はどのように変化しましたか？」

51 ~ 75% 増加



76 ~ 100% 増加



2 倍超増加



「貴組織では、過去 3 年間にクラウドの**コスト**はどのように変化しましたか？」

51 ~ 75% 増加



76 ~ 100% 増加



2 倍超増加



ベース : ストリーミングアーキテクチャやクラウドワークフローの導入を担当する 225 人のマネージャー、ディレクター、VP
注 : 各質問には「75% 超減少」から「2 倍超増加」までの 10 段階のスケールがあり、大幅な増加を示す結果が得られました

出典 : 2023 年 6 月に Akamai の委託を受けて Forrester Consulting が実施した調査

ワークロードショッピング：コストなどが重要

コスト圧力が、メディアプロバイダーとクラウドプロバイダーの関係に影響を及ぼし始めています。Forrester の調査によると、回答者の 73% がコスト

圧力を理由に大規模プロバイダーからの移行を検討しています。主な課題には、クラウド・サービス・コストの管理（回答者の 63%）と請求（60%）があります。

コスト圧力がクラウドプロバイダーとの関係を妨げている



当組織は、コスト圧力が原因で、大規模プロバイダーからの移行を検討している。

73%



当組織は、コスト圧力が原因で、特定のワークロードをクラウドから戻すことを検討している。

68%



当組織のクラウド・サービス・コストは、長期的に管理するのが困難である。

63%



当組織が利用しているクラウドサービスの請求はわかりにくい。

60%

ベース：ストリーミングアーキテクチャやクラウドワークフローの導入を担当する 225 人のマネージャー、ディレクター、VP

出典：2023 年 6 月に Akamai の委託を受けて Forrester Consulting が実施した調査

コスト抑制戦略の1つとして、ワークロードショッピングが挙げられます。これには、各ワークロードに最適な環境（およびクラウドプロバイダー）の見極めが含まれます。

ワークロードを適切なクラウドプロバイダーに割り当てることを検討する主な理由は次の3つです。

- 1 クラウドアーキテクチャとインフラのプランニング。**最もコスト効率の高い最善のプロバイダーという観点で意思決定を行います。
- 2 地理的な場所と低レイテンシー。**おすすめ提案エンジンなどの機能を向上させるために、地理的な場所と低レイテンシーに基づいてクラウドプロバイダーを選択します。
- 3 著作権侵害対策。**低レイテンシーであるということは、トークンが窃取された場合にそのトークンを取り消せることを意味します。そのため、著作権侵害の防止もプロバイダーを選択する理由となります。コンテンツの地域的な権利やデータ主権の規制にも同様の理由が当てはまります。

ワークロードショッピングとその後のワークロードの移行により、特定のアプリケーションのレイテンシーが低減され、コスト上のメリットも得られます。

Akamai のクラウド・コンピューティング・パートナーの1社である Macrometa は、有名なスポーツリーグと提携しています。

大規模プロバイダーから Akamai にアプリケーション（動画とそれに付随する統計情報を数百万人のユーザーに配信するアプリケーション）を移行することで、Macrometa はデータベースへの書き込みと読み取りのコストを大幅に削減しました。

最後に、企業はクラウドプロバイダーに、生成 AI を使用して Web ページや動画を分析し、より優れたおすすめコンテンツ機能、検索機能とコンテンツディスカバリー、言語モデル、分類、パーソナライズを提供することを求めています。

クラウドを追い求めることに伴うコスト

コストが重視されるのは当然のことです。

大々的にクラウドを導入すると、クラウドの無秩序な拡大、多大なデータエグレス（出方向の通信）コスト、予測不能な料金など、多くのメディア企業は高いコストを負担することとなります。

メディアおよびエンターテインメント業界では、予期しない出来事がクラウドのコストに最も大きく寄与する傾向があります。

人気プログラムでの予想外の視聴者の急増に対応するために、メディアのエグゼクティブは需要を過大評価することがよくあります。

その結果、コスト管理が、クラウドのより有意義またはより効果的な使用を阻害する最大の要因の1つとなります。

実際、クラウドコストの管理は、今日のビジネスリーダーが抱えている戦略的かつ技術的な課題となっています。

コスト管理の取り組みには、プラットフォームの選択、システムの綿密なエンジニアリング、高度な最適化ツールの使用などが含まれます。

コスト、セキュリティ、ガバナンス、スキルは、クラウドのより良い使用またはより効果的な使用を阻害する重要な要因

クラウドのより良い使用を妨げる障壁（上位5つの回答）



Q：次の課題のうち、貴組織での IaaS / パブリッククラウドの広範な導入を妨げる最大の障害はどれですか？ベース：全回答者、略記（n=368）

出典：451 Research の Voice of the Enterprise：Cloud, Hosting & Managed Services, Workloads & Key Projects 2021

メディアの注目点：トランスコーディングワークロード

メディア組織では、たとえば動画セグメントを準備（パッケージング）するためにコンピューティングリソースが必要です。

このプロセスは動的です。パッケージングはユーザーがストリームを要求したときにのみ実行されるため、ストリームの準備に追加のコンピューティングリソースが必要になり、そのため追加のクラウドエグレス料金が発生します。

トラフィックの急増がクラウドによってシームレスに吸収されると同時に、不要なキャパシティ（およびコスト）もオフロードされる可能性があるため、大規模なストリーミング時にコストを削減できます。

使用した分だけ料金を支払うことはクラウドの大前提であり、これは Akamai でのトランスコーディングとパッケージングが最善である理由でもあります。

トランスコーディングでは、非常に高品質な 4K 動画が顧客のデバイスで実際に使用できるものに変換されます。したがって、トランスコーディングはメディア配信ワークロードに不可欠です。

このワークロードには処理とストレージが必要です。トラフィックの急増が発生しやすく、時間的制約があり、エッジに密接に結び付いていて、CPU とデータを集中的に使用します。

たとえば、Akamai は Bitmovin と提携して、OneFootball にクラウドでスケラブルかつ信頼性の高いトランスコーディングを提供しています。OneFootball はドイツのプラットフォームベースのサッカーメディア企業であ

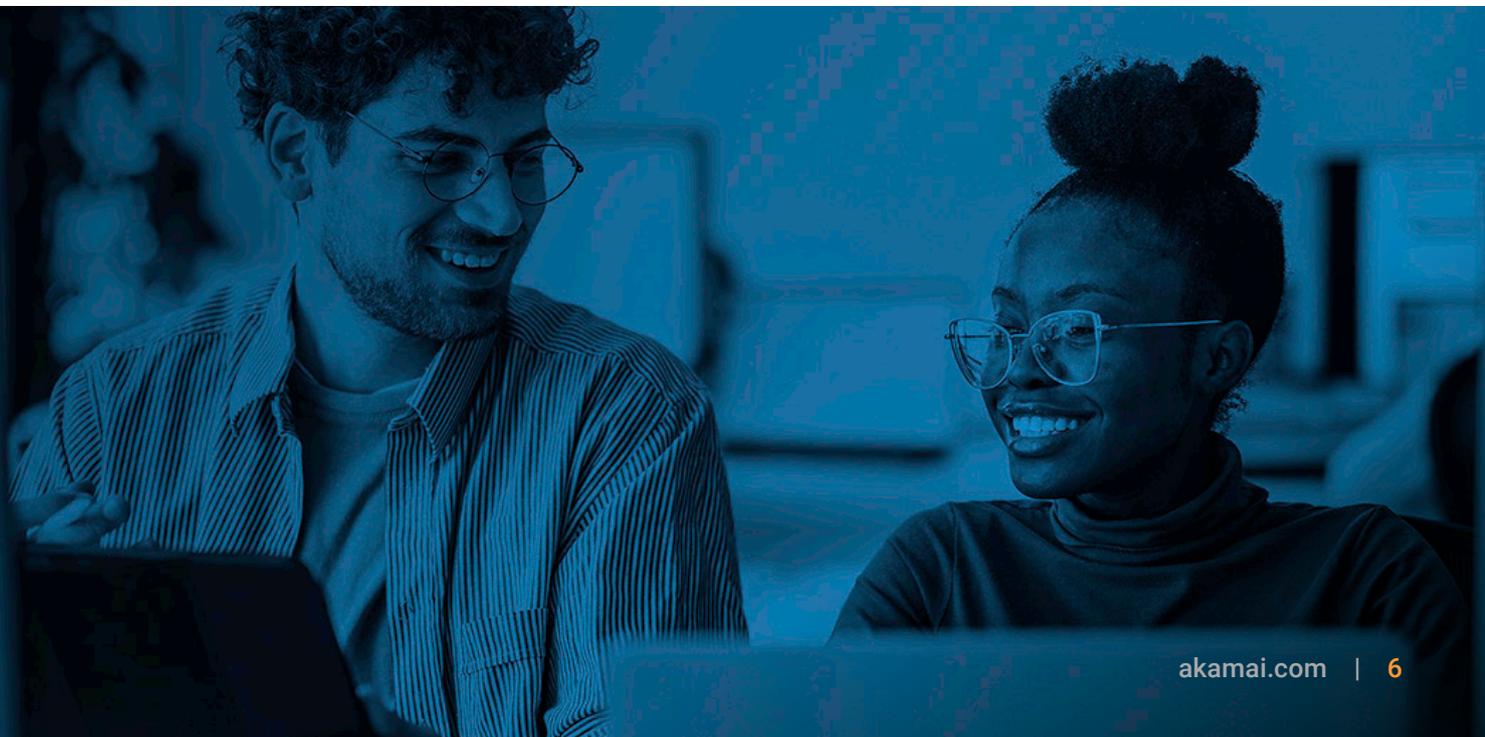
り、アプリを通じて 12 の言語で 135 のクラブ、リーグ、サッカー連盟のライブストリーミング、スコア、スタッツ、ニュースを提供しています。サッカーの試合よりも、トラフィックの急増が発生しやすく、時間的制約のあるイベントはほとんどありません。

視聴者がバッファリングなしで可能な限り最高の品質のコンテンツをストリーミングできるようにするためには、コンテンツプロバイダーがデバイスへの適合性を高めて、インターネット接続速度の遅いユーザーにも対応し、幅広いコンシューマーデバイスでコンテンツを視聴できるようにしなければなりません。

コンテンツのトランスコーディングには、オンプレミスとクラウドの 2 つの方法があります。オンプレミストランスコーディングは一般的にコストが低くなりますが、複数のファイルバージョンを作成する必要があるため、生成に時間がかかり、エンコーダーの CPU に負担がかかります。

クラウドトランスコーディングは、エッジにあるトランスコーダーやサーバーを使用することで、スケラビリティ、コスト効率、柔軟性を提供します。

クラウドトランスコーディングでは、サイズや解像度に合わせてフォーマットされた同じ動画の複数のレンディションが作成されるため、視聴者は自身のネットワーク接続とデバイス機能に合わせて最適化されたバージョンを受信できます。トランスコーディングをリアルタイムで行い、ライブストリーミングをサポートすることができます。視聴者は、中断することなく可能な限り鮮明な動画を視聴し、高品質の体験を得られます。



速度、パフォーマンス、価格透明性を兼ね備えた分散型クラウドプラットフォーム

メディア企業は、ワークロードのポータビリティを損なうことのない、低レイテンシーで信頼性の高いコンピューティングリソースを必要としています。

メディアおよびエンターテインメント企業は、Akamai を利用することで、開発者にとって使いやすく、専門的なトレーニング、認定、専用ツールを必要としない、世界で最も分散したクラウドプラットフォームを活用できます。

Akamai は価格透明性があり、隠れた料金がなく、コンピューティングリソースの過剰割り当てによって予期しない請求が発生することはありません。Akamai の料金は予測可能であり、CDN の「キャッシュミス」や動画セグメントのジャストインタイムのパッケージングによって追加のエグレス料金が発生することはありません。

Akamai のソリューションはポータブルであるため、ベンダーロックインを回避できます。Akamai Connected Cloud プラットフォームは十分に文書化されており、クラウド配信とセキュリティに関する数十年の経験のあるスペシャリストによってサポートされています。

これらのすべてが意味するところは何でしょう？

アプリケーションをすばやく構築し、**エンドユーザーの近くで展開**できるようになります。その結果、**パフォーマンスが向上し**、高度なセキュリティを保ったまま、**市場投入までの時間を短縮**できます。

Akamai はコンテンツをユーザーに近づけると同時に、**エグレスコストの削減**、**予算の透明性の確保**、**レイテンシーの低減**、**信頼性と視聴者エンゲージメントの向上**を実現します。

これが、Akamai がすでに最大手ストリーミングサービスから信頼を得ている理由です。貴社はいかがですか？